

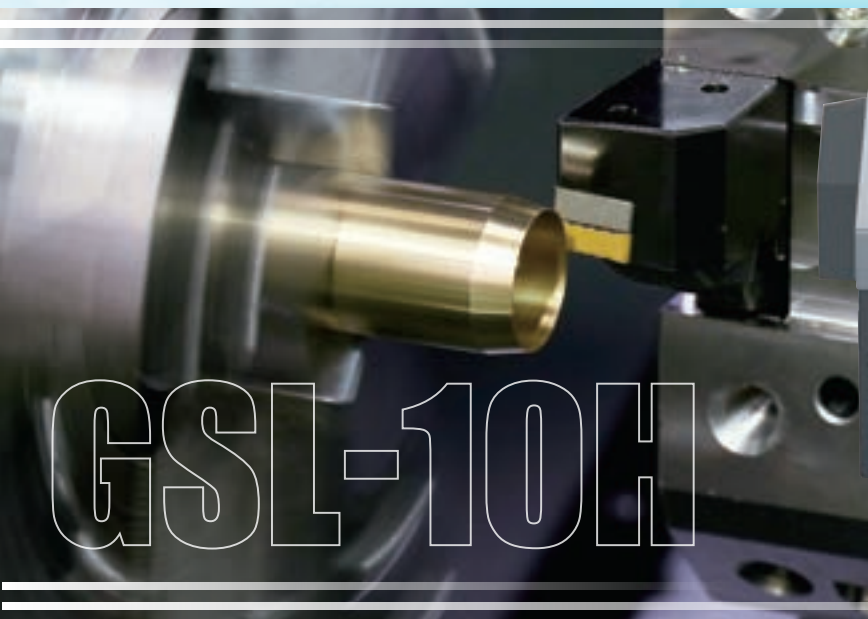
第57期

第2四半期 株主通信

平成29年4月1日～平成29年9月30日

TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

証券コード：6155



GSL-10H

→ GSL-10Hについての詳細は7ページをご覧ください。

CONTENTS

- | | |
|----------------|-----------|
| P1 株主の皆様へ | P7 製品のご紹介 |
| P3 セグメント別の概況 | P8 株式の状況 |
| P4 トピックス | P9 会社の概要 |
| P5 第2四半期連結財務諸表 | |



株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成29年9月30日をもちまして第57期第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日）を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに第2四半期決算の状況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 **高松喜与志**

第2四半期連結決算概要

工作機械需要が高い水準で推移

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策等の効果もあり、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られ、緩やかな回復基調で推移しました。

工作機械業界においては、平成29年9月の業界受注総額が単月として過去最高の1,491億円に達するなど、国内外ともに設備投資への強い姿勢が持続しており、当第2四半期連結累計期間の受注総額は前年同期に比べ33.2%の増加となりました。この状況から日本工作機械工業会では、暦年業界受注総額見込を1兆3,500億円から1兆5,500億円に上方修正しています。

当社グループは、取り巻く環境が非常に好況な中において

事業別の戦略を推進し、収益の確保にまい進してきました。

工作機械事業においては、平成29年4月にCIMT2017(中国)、5月にMEX金沢、9月にEMO2017(ドイツ)に出展し、また、海外の連結子会社ではプライベートショーを実施するなど、国内外でのプロモーションを通じた受注獲得に取り組んできたことで、大手ユーザを中心として内需が高い水準を維持し、海外でも中国をはじめとしたアジア向けが大きく増加しました。

製品面では、日刊工業新聞社主催の第47回機械工業デザイン賞において、スカイビング加工機「SKV-8」が機能とデザインの両面で評価され審査委員会特別賞を受賞しました。

IT関連製造装置事業においては、高い需要が継続する半導体関連向けに適切な生産対応を実施してきました。また、更なる事業拡大に向けて需要情報の収集に努める中、新規装置の受注も

獲得しました。利益面でも売上拡大に伴い大きく改善しました。

自動車部品加工事業においては、売上確保に向けて新規部品受注の獲得をはかり、積極的に営業活動を進めてきましたが、製品ライフサイクルによって一部部品の需要が減少したことなどを要因として売上高が前年同期より落ち込み、利益面でも営業損失の拡大となりました。

以上のような営業活動を行ってきた結果、工作機械受注高は92億75百万円(前年同期比31.4%増)となり、工作機械受注残高は91億95百万円(同56.6%増)と大幅に増加しました。

連結売上高は86億82百万円と、前年同期に比べ9億64百万円(12.5%増)の増収となり、営業利益は5億17百万円(前年同期比130.7%増)、経常利益は5億13百万円(同131.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億33百万円(同42.2%増)の増益となりました。

なお、第57期中間配当金につきましては、年初計画のとおりの1株当たり7円とすることで取締役会決議を行いました。

今後の見通し

最適生産の実施と海外需要の拡大

IMF世界経済見通しでは、世界経済活動の上昇が勢いを増し、新興市場および発展途上諸国・地域で成長が高まると予想し

ており、日本経済においても前年を上回る成長を見込んでいます。

工作機械業界では、自動車および半導体製造装置関連の需要が旺盛であり、先行きについても、北朝鮮情勢の影響等のリスク要因はあるものの、国内外とも総じて好材料が多く、好調が持続すると期待されています。

このように当社グループを取り巻く環境に明るさが増しつつありますので、高い需要を取り込み、計画を達成するよう戦略の推進に注力していきます。

工作機械事業においては、高い需要からフル生産にて対応していますが、より多くの生産に対応できるように、適切な生産管理に努めるとともに、生産拡大策をはかっていきます。また、利益確保のための原価低減も進めます。

営業面では、将来的視点からも海外需要を拡大させるため、新規ディーラ・ユーザの開拓、ニーズ収集などに取り組んでいきます。

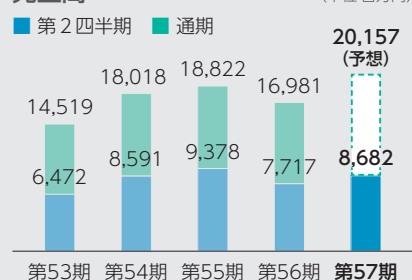
IT関連製造装置事業でも、高い需要が継続する見通しであり、適切な生産の実施によって売上高を確保していきます。

自動車部品加工事業では、売上・利益の改善に向けた営業活動・原価低減の推進に注力していきます。

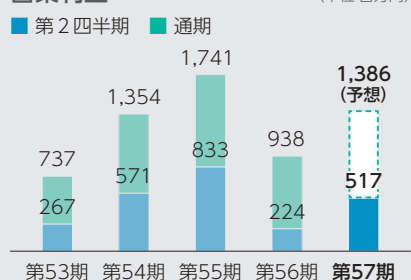
株主の皆様におかれましては、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

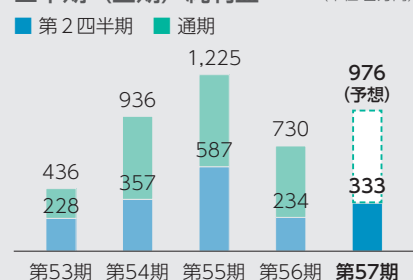
売上高



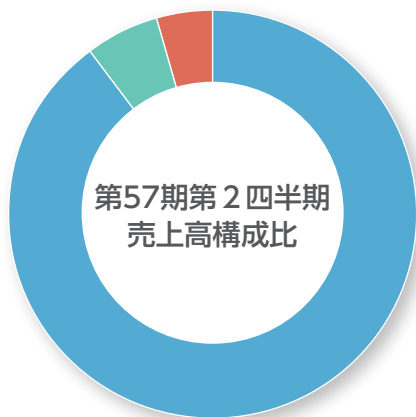
営業利益



親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益



セグメント別の概況



- 工作機械事業
- IT関連製造装置事業
- 自動車部品加工事業

工作機械事業

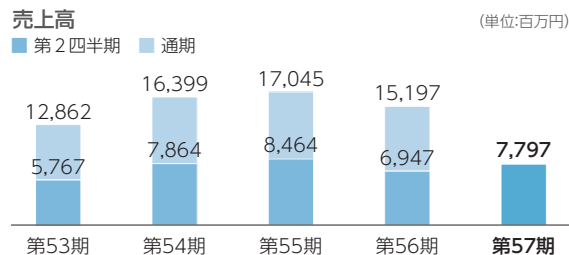
営業面では、国内外の主要な展示会への出展、海外子会社でのプライベートショー開催によって拡販活動に努めてきたほか、各ユーザのニーズを満たした自動化製品群を提供してきました。

製品面では、多彩な複合加工により効率的な工程集約が可能な「XTT-500M」と、従来機「GSL-10」の良さを維持しながら汎

売上高 **7,797** 百万円
構成比 **89.8%**

用性をアップさせた「GSL-10H」（7ページに詳細）の2機種を新たに発表しました。

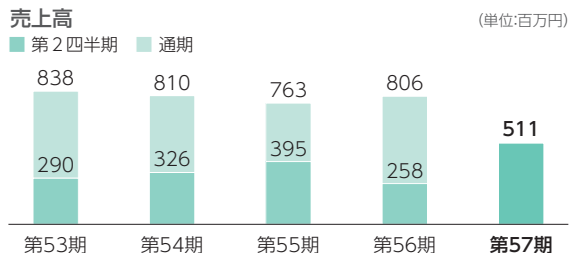
地域別の売上高は、内需が好調に推移し、55億81百万円(前年同期比18.8%増)、外需はほぼ横ばいにとどまり、22億15百万円(同1.5%減)でした。外需比率は28.4%(前年同期は32.4%)となりました。



IT関連製造装置事業

売上高 **511** 百万円
構成比 **5.9%**

上半期を通じて半導体関連が好調を維持し、前年同期を大きく上回る需要がありました。また、営業活動の成果による新規獲得案件が上半期から業績に寄与しはじめたことで、売上高が大幅に改善しました。

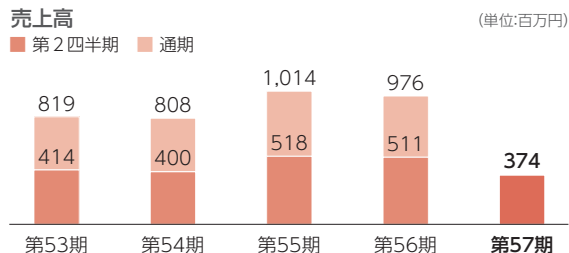


自動車部品加工事業

売上高 **374** 百万円
構成比 **4.3%**

当社単体では複数の完成車メーカーにおける使用部品の切り替え等の影響を受け、売上高が伸び悩みました。

一方タイの連結子会社は、まだ規模は小さいものの、徐々に取引規模を拡大してきました。



展示会出展

■ メカトロテックジャパン2017

10月に自動車産業の集積地である名古屋にて、工作機械見本市メカトロテックジャパン2017が開催され、4日間で約9万人が訪れました。

当社は“先進の加工技術で拓く未来”をテーマに、レーザー加工装置の搭載により微細加工が可能な「XY-120 PLUS」など4機種を展示したほか、IoTで機械の稼働状況やモーターの負荷などをデータ化するシステムや業界最速のローダー等、自慢の技術を披露しました。



■ EMO2017

9月にドイツにてEMO2017が開催されました。EMOは2年に1度開催される世界最大規模の工作機械見本市であり、世界45ヵ国から最先端の技術が集結し、多くの人で賑わいました。

当社も、シャフト加工に特化した新製品「XTT-500M」や、高速自動化システムを搭載し、サイクルタイム短縮に寄与する「XW-60」など5機種を展示し、世界に向けて当社の技術を発信しました。



個人投資家様向け会社説明会

9月に個人投資家様を対象とした会社説明会を行いました。12日は東京、13日は金沢で行い、2日間で約100名の個人投資家の皆様にご参加いただきました。

東京での開催には、当社のことをご存じなかった個人投資家様も多数参加してくださり、当社を理解していただける絶好の機会となりました。今後も、個人投資家の皆様とお会いする機会を増やし、IR活動を積極的に行っていく予定です。



新設子会社オープニングセレモニー

5月より営業を開始したベトナムとメキシコの現地法人において、7月にオープニングセレモニーを行いました。ディーラ様やユーザー様をお招きして新たな門出を祝うとともに、今後より一層の活躍を祈念しました。

■ TAKAMATSU MACHINERY VIETNAM CO., LTD.

ベトナム事務所では、東南アジアを中心とした海外向け製品「GSLシリーズ」を展示し、現地のニーズに対応できる低価格で高品質な製品をアピールしました。

パーティ会場では、多くの方からお祝いのお言葉をいただき、大盛況のうちに幕を閉じました。



■ TAKAMAZ MACHINERY MEXICO, S.A.DE C.V.

当社のディーラであるユアサ商事株式会社様のメキシコ現地法人にてオープンハウスを行い、省エネかつコンパクトな設計の「XC-100」等を披露しました。

パーティ会場では、メキシコ音楽の演奏が行われるなど終始和やかな雰囲気の中、皆様揃って盛大にお祝いました。



機械工業デザイン賞受賞

7月に発表された「機械工業デザイン賞」（日刊工業新聞社主催）にて、当社製品「SKV-8」が審査委員会特別賞を受賞しました。

「SKV-8」は、加工物の表面をカンナのように薄く削り落とす“スカイビング加工”という特殊な加工方法を採用しており、自動車業界が求める生産性アップに貢献できる製品です。

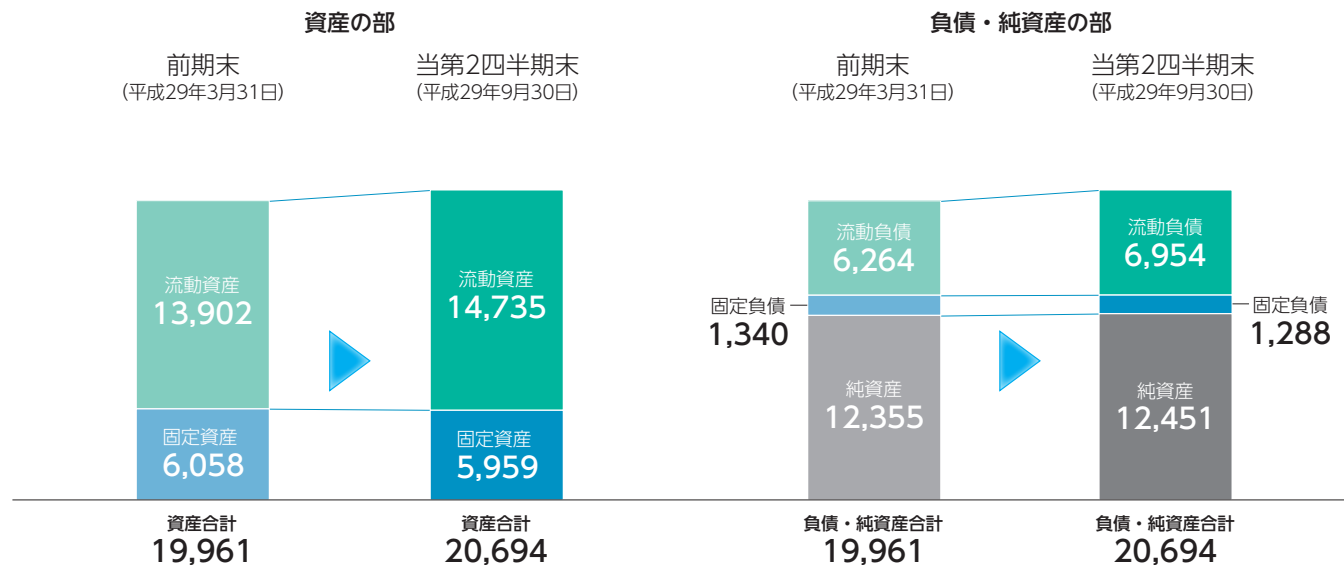
優れたパフォーマンス力を持つうえに、コンパクトな機械サイズである点が評価され、受賞につながりました。



第2四半期連結財務諸表

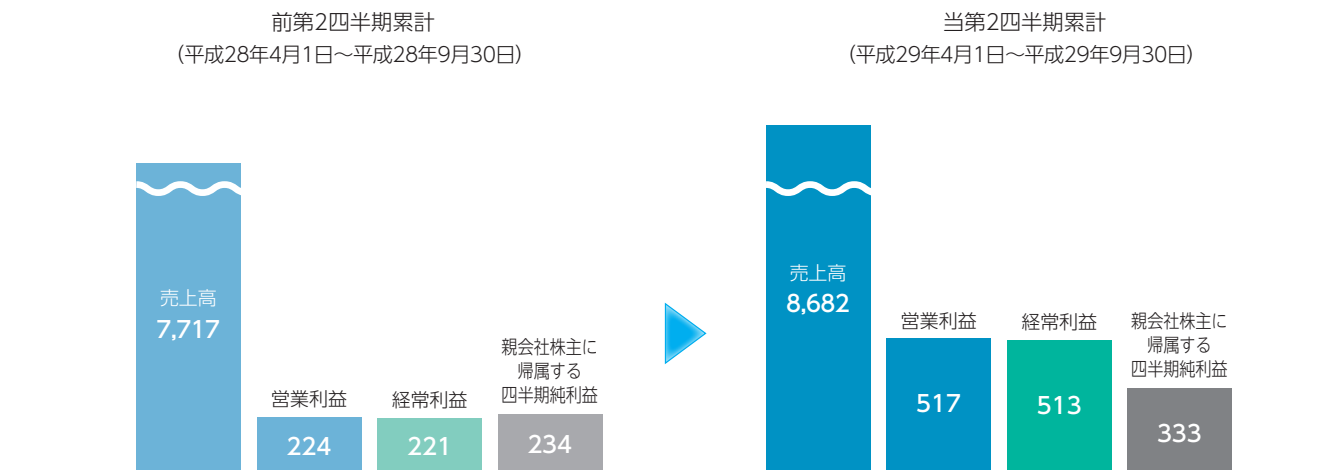
四半期連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



四半期連結損益計算書の概要

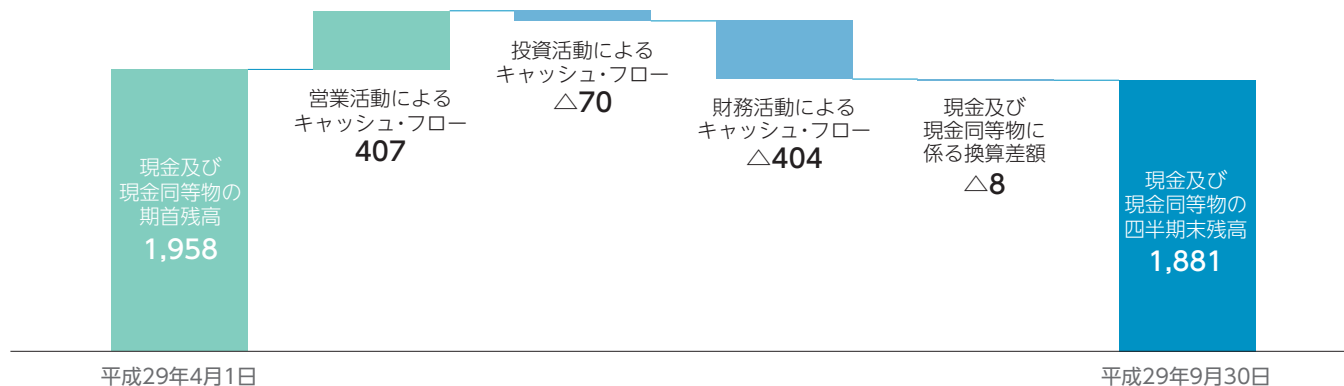
(単位:百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

当第2四半期累計
(平成29年4月1日～平成29年9月30日)



財務のポイント

■ 資産

たな卸資産が8億99百万円、電子記録債権が3億54百万円、流動資産のその他(前渡金等)が1億54百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が5億2百万円、現金及び預金が80百万円減少しました。

■ 負債

電子記録債務が3億44百万円、流動負債のその他(前受金等)が2億12百万円、支払手形及び買掛金が1億87百万円増加しましたが、長期借入金が73百万円、未払法人税等が72百万円減少しました。

■ 純資産

利益剰余金が1億90百万円、その他有価証券評価差額金が53百万円増加しましたが、自己株式が1億31百万円増加(純資産は減少)しました。

なお、自己資本比率は60.0%であります。

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

4億7百万円の資金流入(前年同期は3億45百万円の資金流入)でした。

主な流入要因は、仕入債務の増加、税金等調整前四半期純利益の計上等であり、主な流出要因は、たな卸資産の増加、法人税等の支払い等であります。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

70百万円の資金流出(前年同期は1億74百万円の資金流出)でした。主な流出要因は、有形固定資産の取得による支出等であります。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

4億4百万円の資金流出(前年同期は2億68百万円の資金流出)でした。

主な流出要因は、配当金の支払い、自己株式の取得、長期借入金の返済による支出等であります。

詳細な財務情報は、当社IRサイトよりご覧いただけます。

<http://www.takamaz.co.jp/ir/>

注目の 新製品

GSL-10H

低コストはそのままに 汎用性を格段にアップ

高いコストパフォーマンスで人気の「GSL-10」が、アップグレード機「GSL-10H」に生まれ変わりました。

■ 機能を拡充し汎用性アップ

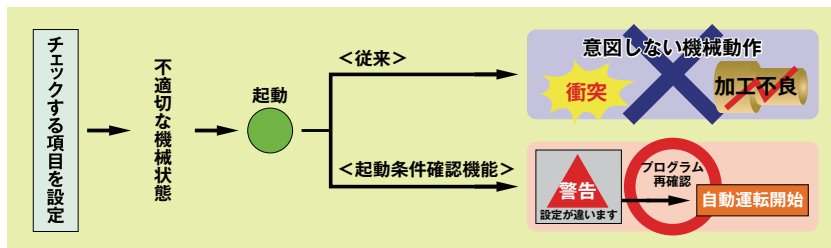
販売開始から3年で累計700台以上を売り上げた人気製品「GSL-10」に中空チャッキングシリンダを搭載しました。生まれ変わった「GSL-10H」は加工の幅を格段に広げ、更に多くのお客様のご要望にお応えします。

■ 女性目線を盛り込んだ設計

販売ターゲットとした東南アジアでは、機械を操作する作業者の大半が女性という背景を考慮し、機械高さや操作性など今まで以上に使い易い機械を目指しました。圧迫感が無いように機械高さを低くし、操作頻度の高いスイッチ類をまとめて使い易い位置に配置することで作業性も向上させています。

■ 機械トラブルを未然に防ぐ機能

機械の状態の確認不足や誤った設定に気づかず機械を動かしてしまった場合に、アラームが鳴り警告画面が表示されることで、機械がスタートしないようになっています。安全機能を強化したソフトで機械の破損や不良品の流出を防ぎます。



GSL-10Hで加工可能なワーク例



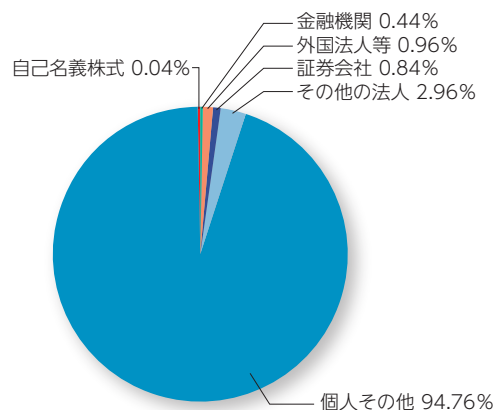
GSL-10Hは自動車部品を主とした量産ベースの加工に多く用いられています。

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

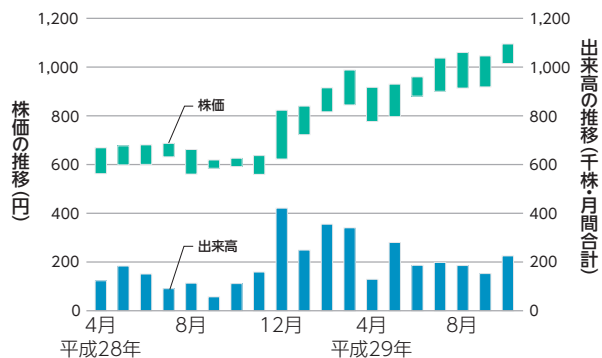
株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000 株
発行済株式総数	11,020,000 株
1単元の株式数	100 株
株主数	2,500 名

所有者別分布状況



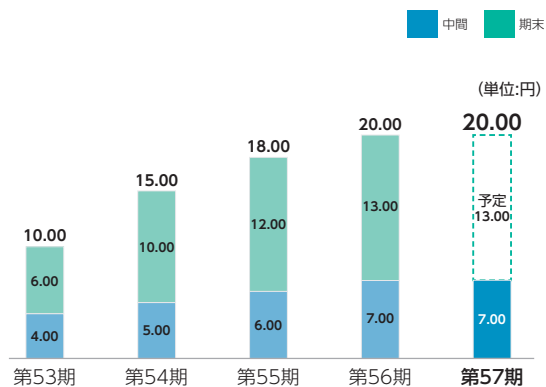
株価インフォメーション



大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
高松機械工業取引先持株会	879	7.98
株式会社タカマツ	810	7.35
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	468	4.25
北国総合リース株式会社	433	3.93
株式会社北国銀行	408	3.70
BBH FOR FIDELITY LOW -PRICED STOCK FUND	386	3.51
日本生命保険相互会社	384	3.48
明治安田生命保険相互会社	360	3.27
株式会社朝日電機製作所	340	3.09
高松機械工業社員持株会	333	3.03

1株当たり配当額



会社概要

商号	高松機械工業株式会社
英文商号	TAKAMATSU MACHINERY CO., LTD.
設立	昭和36年7月
資本金	18億3,539万円
本社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従業員数	520名
事業内容	・CNC旋盤等の製造、販売およびサービス・メンテナンス ・部品、コレットチャック等の製造、販売 ・IT関連製造装置の製造 ・自動車部品の加工
ホームページアドレス	http://www.takamaz.co.jp

役員

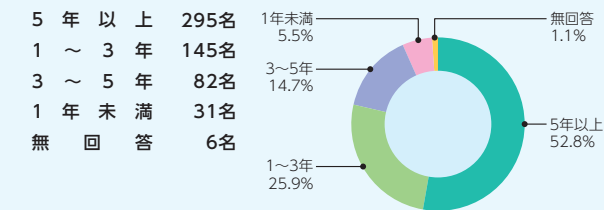
代表取締役社長	高松喜与志
代表取締役副社長	高松宗一郎
専務取締役	前田充夫
専務取締役	中西与平
常務取締役	溝口清
取締役	徳野穰
取締役	磯部稔
取締役	村田俊哉
取締役	四十万尚
取締役（社外）	中西祐一
取締役（社外）	石原多賀子
常勤監査役	池上佳信
監査役（社外）	鍛冶敏弘
監査役（社外）	杖村修司

アンケートのご報告

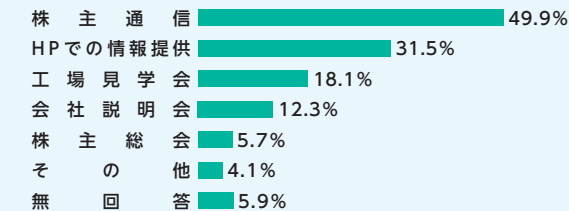
単元株主様の第56期株主通信に同封しましたアンケートにおきましては、たくさんのご回答をいただき誠にありがとうございました。
 アンケートの集計が完了しましたので、その一部ですがご報告させていただきます。

単元株主数	2,032名
アンケート回答数	559名
アンケート返信率	27.5%

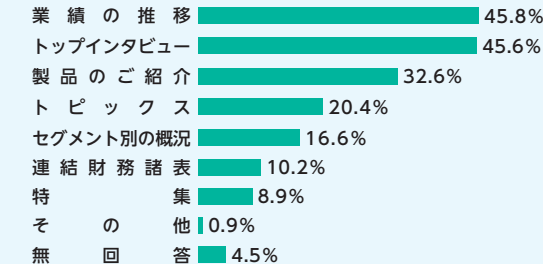
●当社株式の保有期間を教えてください。



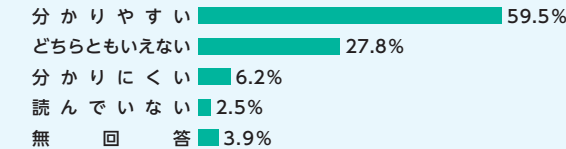
●当社のIR活動について充実を希望することはありますか？
 (複数回答可)



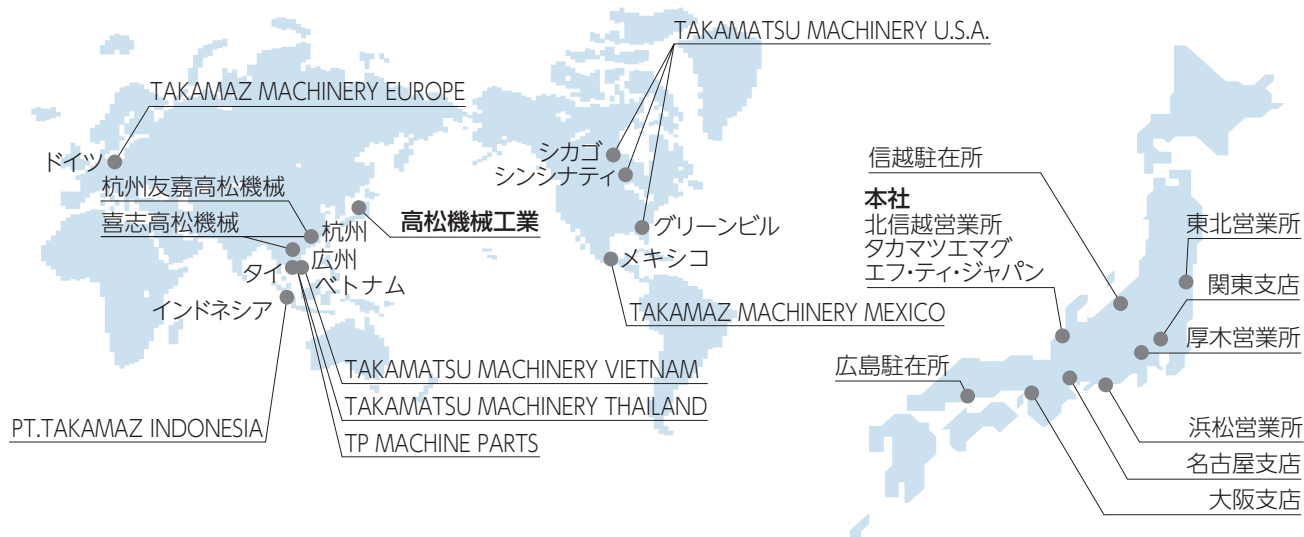
●株主通信の中で、どの記事に興味を持たれましたか？
 (複数回答可)



●株主通信の「製品のご紹介」ページの内容はいかがでしたか？



ネットワークとサービス体制



生産拠点



本社工場 (工作機械事業)



本社工場 航空写真



第2工場 (コレットチャック生産)



第3工場 (自動車部品加工)



開発センター (IT関連製造装置)

ホームページのご案内

当社はホームページにて、さまざまな情報を配信しております。当社のご理解や最新情報のご確認に、ぜひご覧ください。
今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



高松機械工業って何をしている会社？

こちらでは当社が何をしている会社なのか分かりやすく紹介しています。ぜひご覧ください。



TAKAMAZ

検索



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主確定基準日 (1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社ホームページに掲載
<http://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部
TEL 076-274-1410〈直通〉
FAX 076-274-1418

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先にお願いいたします。



TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

ホームページ <http://www.takamaz.co.jp>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。